

## 社会・経済システム学会第42回大会

大会テーマ：「複合的課題としての社会・経済システム」

開催日：2023年10月28日（土）・29日（日）

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス

### 【大会テーマ趣旨説明】

全世界的なパンデミックに発展した新型コロナウイルス感染症は、急を要する対応を求めて21世紀の社会・経済システムが抱えている様々な課題を考えさせる契機となった。本学会でも、「COVID19で変わる社会」（39回）、「新型コロナ後の社会・経済システム」（40回）、「『with コロナ』期における社会・経済システム」（40回）と、この問題にかかわるテーマ3回に渡ってかかげてきた。

新型コロナウイルス感染症への引き続きの対応や次のパンデミックへの備えも求められるが、現代の社会・経済システムはこれ以外にも、地球規模の環境問題、大規模災害、国際紛争、産業構造の変化、情報通信や生命科学領域での急速な技術開発への社会への影響、国内外で拡大する経済格差など数多くの課題を抱えている。これに加え、わが国では高齢化を伴う人口減少や長期に渡る経済の低成長と巨額の財政赤字なども抱えている。これらの課題は相互に関連し、干渉しあうものであり、その中で未来を描くことを余儀なくされている。パンデミックのように集中した緊急対応が求められる課題がある一方で、人口問題や地球環境問題は社会のあり方の根幹に関わる一方、時間発展の速度が遅いことから、先送りされがちであり、対策が手遅れになるリスクも抱えている。

複合的な課題への対応を考えることこそ、社会と経済をシステムとして捉える視点が最も要求される。本大会では幅広い分野の研究者が参画する本学会において、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの経験を踏まえつつ、現代の社会経済が抱える複合的な課題についての豊かな対話・討論の場としたい。

本学会ではこのような趣旨で、「複合的課題としての社会・経済システム」をテーマにかかげ、理論面・実践面からの幅広い活発な討論に資する報告をひろく募るものである。なお、直接的に「複合的課題」について論じたものでなくとも、現在の社会・経済システムが直面する諸課題にとりくむテーマを歓迎するので、積極的な報告をお願いしたい。

(以上)